

【工夫のポイント】

○ 法人が中心となった共同活動による農業を継続できる体制の整備。

また、耕畜連携による法人の経営安定を図ることにより農業生産活動を継続できる仕組みづくり。

【取組地域の概要】

○位置



○地域の概要

・神石高原町の南部に位置に広がる水田帯である。

○主要作物

・水稻, WCSなど

面積 : 17.9ha
田 : 17.5ha, 畑 : 0.4ha
交付金額 : 182万円
(個人配分50%、共同取組活動50%)
協定参加者 : 農業者26人、
農地所有適格法人 1 法人
協定開始 : 平成12年度

現状と課題

高齢化・担い手不足からの農事組合法人の設立

○ S53年から実施されたほ場整備事業を契機に営農集団(機械の共同利用)を組織し営農を実施。H12年度から本制度の取り組みを行い、営農集団による農業生産活動を行っていたが、高齢化・担い手不足による共同活動の継続が困難となることを危惧し、H15年度に農事組合法人「かめいし」を設立。

○ H19年より多面的機能支払を活用し、集落と地元小学校が連携して、農業体験学習(稲刈り)を実施し、米作りへの理解・関心の醸成を目指す。



共同活動風景



開花した景観作物



稲刈り体験

耕畜連携の取組

○ 本制度を活用し、法人に水稻共同防除資材等を、協定参加者に共同作業に使用する草刈刃を毎年配布。

○ 水稻のほか、町内の畜産農家と連携した飼料用稲(WCS)の栽培や堆肥センターと連携した堆肥散布を行うなど町内の耕畜連携により需要に応じた農産物の生産や低コスト営農を展開している。

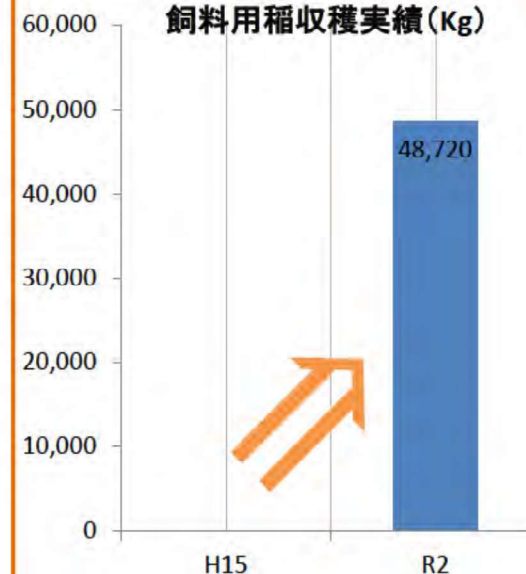


共同防除



堆肥散布

飼料用稲収穫実績(Kg)



中山間直接支払の取組内容

(取組のプロセス)

